

|                       |   |        |                     |      |        |      |       |         |
|-----------------------|---|--------|---------------------|------|--------|------|-------|---------|
| 整理番号                  | 29-13   | 事務事業名  | 農業水利施設多面的機能支援事業     | 作成部署 | 経済部農政課 | 電話   | 内線852 |         |
| 事務区分                  | 自治事務  | 法定受託事務 | 部長職名                | 池上俊廣 | 課長職名   | 鈴木康照 | 作成日   | 平成17年6月 |
| 事務事業開始年度              | H12   | 根拠法令等  | 北広島市農業振興奨励事業補助金交付要綱 |      |        |      |       |         |
| "終了予定年度"              | H21   |        |                     |      |        |      |       |         |
| 事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等) | 農業水利施設は多面的機能を有しているが、組合員の減少などにより土地改良区の管理体制が脆弱化しつつある。よって、近年の都市化・混住化の進展に伴い、地域住民が享受している多面的機能の発揮のため各自治体が支援して当該施設管理の適正化を図る。 |        |                     |      |        |      |       |         |

## 1 計画(プラン)

|                      |                                 |  |        |
|----------------------|---------------------------------|--|--------|
| 上位施策との関連(総合計画での位置付け) | 章                               | 力強い産業活動が展開されるまち  | (第6章)  |
|                      | 節                               | 農業   | (第1節)  |
|                      | 施策                              | 農地の保全  | (第1施策) |
| 目的(ここから成果指標を導きます)    | 対象(誰、又は何を)                      | 恵庭土地改良区  |        |
|                      | 意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか) | 国営造成施設等を管理する土地改良区を対象として、北海道と市町村が連携し、多面的機能の発揮及び環境への配慮、安全管理の強化等に対応した管理体制の整備を図る。                          |        |
| 手段(ここから活動指標を導きます)    | 16年度まで                          | 恵庭土地改良区が管理する国営造成施設等に係る管理経費のうち、多面的機能の発揮に相当する費用及び環境や安全に配慮した管理業務の費用に対して支援する。<br>補助率：国 50% 北海道 25% 市町村 25% |        |
|                      | 17年度                            | 同上   |        |

## 2 実施(ドウ)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

| 区 分     |             | 15年度(決算) | 16年度(決算) | 17年度(予算) | 18年度(予定) |
|---------|-------------|----------|----------|----------|----------|
| 直接事業費   | 国支出金        | 3,094    | 3,322    | 3,080    | 3,080    |
|         | 道支出金        | 1,532    | 1,644    | 1,525    | 1,525    |
|         | 地方債         |          |          |          |          |
|         | その他特財       |          |          |          |          |
|         | 一般財源        | 1,563    | 1,678    | 1,555    | 1,555    |
|         | 合計          | 6,189    | 6,644    | 6,160    | 6,160    |
| 人件費(概算) | 人数(年間)      | 0.10     | 0.10     | 0.10     | 0.10     |
|         | 1人当り年間平均人件費 | 9,000    | 9,000    | 9,000    | 9,000    |
|         | = ×         | 900      | 900      | 900      | 900      |
| 総事業費 +  | 7,089       | 7,544    | 7,060    | 7,060    |          |

## 【事務事業を評価する指標(ものさし)】

| 指 標                     | 指 標(算式)            | 指 標 値  |        |          |          |
|-------------------------|--------------------|--------|--------|----------|----------|
|                         |                    | 15年度   | 16年度   | 17年度(目標) | 18年度(目標) |
| 活動指標<br>(事務事業の活動量や実績)   | 補助の対象施設            |        |        |          |          |
|                         | 頭首工・用水機場(箇所)       | 7      | 7      | 7        | 7        |
|                         | 幹線用水路(km)          | 10.0   | 10.0   | 10.0     | 10.0     |
|                         | 支線用水路(km)          | 31.8   | 31.8   | 31.8     | 31.8     |
| 成果指標<br>(目的の達成度を測るものさし) | 補助対象経費(千円)         | 18,823 | 20,106 | 19,000   | 19,000   |
|                         | 多面的機能分の割合(0.6/1.6) | 37.5%  | 37.5%  | 37.5%    | 37.5%    |
| 効率指標<br>(主要活動単位当たりコスト)  | 補助対象圃場面積           | 423 ha | 425 ha | 414.8 ha | 414.8 ha |
|                         | 圃場1ha当たり補助金額(円)    | 14,630 | 15,630 | 14,850   | 14,850   |

**3 評価(チェック)と改善(アクション)**

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等  
 本事業の根拠となる国営造成施設管理体制整備促進事業(管理体制整備型)が農水省により平成12年3月に創設され、恵庭土地改良区が事業区域とする恵庭市及び千歳市とともに市が共同で支援することとした。なお、農水省では平成21年度まで上記事業の拡充を計画中である。

| 項目  | 判定                              | 判定の説明や課題                                 | 改善の方法 |
|---|---------------------------------|--|-------|
| 行政関与の妥当性<br>【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】 | 適切<br>改善の余地あり(改善の方法記入)          | 国の制度に基づいた農業施設の多面的機能分の助成であり、妥当と考える。       |       |
| 目的の妥当性<br>【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】   | 適切<br>改善の余地あり(改善の方法記入)          | 近年、環境への配慮や安全対策の強化が求められていることから、目的は妥当である。  |       |
| 手段の妥当性<br>【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】       | 適切<br>改善の余地あり(改善の方法記入)          | 施設を管理する土地改良区への支援が一番有効と考える。               |       |
| 受益者負担の妥当性<br>【受益者負担の適正化の余地はありませんか】                | 適切<br>改善の余地あり(改善の方法記入)<br>該当しない | 組合員(農業者)は土地改良区に賦課金を支払っており、相応の負担を既に行っている。 |       |

| 項目                                    | 判定  | 判定の説明や課題  | 改善の方法 |
|---------------------------------------|---|---|-------|
| 有効性の評価<br>【意図した成果は上がっていますか】           | 十分成果が上がっている<br>概ね成果が上がっている<br>あまり成果が上がっていない<br>成果が上がっていない | 年々組合員は減少しているが、施設の管理は適正に行われている。  |       |
| 効率性の評価<br>【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】 | 十分効率的<br>概ね効率的<br>やや非効率<br>かなり非効率                         | 国の基準に沿った支援であり、適正である。しかし、3市の負担割合については、組合員数の変動や管理する施設の増減等により見直すことも考慮する。 |       |

**【事務事業担当部局内優先度】**

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A          B          C

**4 総合判定と今後の方向性**

| 【1次評価】   | 判定   | 今後の方向性や改善方法など   |
|--|--|---|
| 事務事業担当部局の総合判定<br>【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】 | 拡大・重点化する<br>現状のまま継続する<br>見直しの上で継続する<br>統合する(検討含む)<br>縮小する(検討含む)<br>廃止・休止する(検討含む)<br>終了 | 農業水利施設は、農業生産に役立つだけでなく、洪水や土砂流失の防止による国土の保全や、地下水のかん養、親水空間の提供など環境の保全効果など様々な機能を有しており、効果は都市地域など流域全体に及びことから、これら機能を発揮できるよう今後とも継続していく。 |
| 【2次評価】   | 判定   | 今後の方向性等   |
| 行財政構造改革推進本部の総合判定   | 拡大・重点化する<br>現状のまま継続する<br>見直しの上で継続する<br>統合する(検討含む)<br>縮小する(検討含む)<br>廃止・休止する(検討含む)<br>終了 | 1次評価のとおり  |